

第 14 回

私立学校の教育・運営に関する研修会

実 施 要 項

主 催 私 学 研 修 福 祉 会
協 力 日 本 私 立 中 学 高 等 学 校 連 合 会
 日 本 私 立 小 学 校 連 合 会
 全 日 本 私 立 幼 稚 園 連 合 会

1. 目 的 全国の私立学校が、それぞれの「建学の精神」に基づき豊かな私学教育の伸
展を図る方途を探求することを目的とする。
2. 研修課題 私立学校の教育・運営の充実について
 - 地域社会は私立学校に何を期待しているのか -

社会の多様化と教育改革による制度的変化は、管理運営上の法律的諸問題・子どもたちをとりまく社会的問題など、私立学校に学習環境へのさまざまな危機管理の対応を求めています。それぞれの「建学の精神」に基づく更なる発展に資するため、保護者を中心とした地域社会の各層が私立学校に何を期待し、何を評価しているのかを今回のテーマとしました。また、各学校種別毎に私立学校の現状と今後の課題について質疑を含めて討議いただきます。昨年の研修会で発表された「教育職員の人事考課制度の導入」の結果報告をいただき、私立学校の一層の伸長の一助といたたく企画いたしました。

3. 研修期間 平成13年12月3日(月)～12月4日(火)の2日間
4. 会 場 「私学会館」(アルカディア市ヶ谷)
 詳細は後掲「案内図」参照
5. 参加対象 私立学校の理事長・校長・園長・理事・教頭・事務長等
6. 研修方法 講演、パネルディスカッション、事例研究、校種別研修、事例指導
7. タイムスケジュール

第1日目 12月3日(月)	11:30 12:30 12:45 14:15 14:30 17:30 17:45																					
		受	付	開	基	調	講	演	休	パ	ネ	ル	デ	ィ	ス	カ	ッ	シ	ョ	ン	懇	親
第2日目 12月4日(火)	9:30 10:30 10:45 12:00 13:00 14:15 14:30 16:00 16:15																					
		事	例	研	休	校	種	別	研	修	昼	食	文	化	講	演	休	事	例	指	導	閉

8 . 研修内容

第 1 日・12月 3 日(月)

開 会

12:30 ~ 12:45

挨拶 : 私学研修福社会理事長 大沼 淳
文化女子大学理事長・学長
研修会運営委員長 田沼 智明
横浜学園中学高等学校理事長

基調講演

12:45 ~ 14:15

「私立学校の管理運営に関する今日的法律問題について」

講 師 : 弁 護 士 山 崎 隆

要 旨

私立学校においては、教職員はもちろんのこと、生徒児童、保護者および地域社会など多面的に法律関係が生じますが、今日の諸々の事象を踏まえ、学校管理者として日常から備えておきたい事柄をご紹介します。

略 歴

昭和 55 年 3 月 慶應義塾大学法学部法律学科卒、63 年 4 月 第一東京弁護士会へ弁護士登録、高井伸夫法律事務所勤務を経て、平成 8 年 4 月 東京ひまわり法律事務所を開設し現在に至る。第一東京弁護士会において人権問題、消費者問題などの委員会活動に携わるほか、日経連経営法曹会議の会員として使用者側から労働問題に取り組み活動。

主な著書

『事例でわかる！人事・労務管理』（かんき出版）、『労働法実務ハンドブック』（中央経済社）、『事例式人事労務トラブル防止の手引』（新日本法規出版）

パネルディスカッション

14:30 ~ 17:30

「地域社会は私立学校に何を期待しているのか」

講 師 : 慶 應 義 塾 幼 稚 舎 舎 長 金 子 郁 容
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

全日本私立幼稚園連合会副会長 田 中 雅 道
光 明 幼 稚 園 園 長

学 校 法 人 河 合 塾 顧 問 丹 羽 健 夫
河 合 文 化 教 育 研 究 所 所 長
(五十音順)

コ-ディネーター : 昭 和 一 高 学 園 顧 問 原

懇 親 会

17:45 ~

パネルディスカッションの発表要旨及びプロフィール

金子 郁 容 (かねこ いくよう) 氏

要 旨

私学の置かれている状況

「競争激化」の傾向

設置基準の緩和 + アクレディテーションなど評価の傾向

今後の私学振興にむけて

略 歴

慶應義塾大学工学部卒業後渡米。スタンフォード大学にて工学博士号取得。ウィスコンシン大学経営工学科計算機学科併任準教授を勤めるなど12年間アメリカ、ヨーロッパで過ごす。一橋大学商学部教授を経て、平成6年4月より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、11年4月慶應義塾幼稚舎舎長。

平成7年阪神淡路大震災の復興支援に際し、ボランティア支援システム「インターVネット」を立ち上げる。さらに地域コミュニティの情報化、障害者の社会参加のしくみづくりなど、ネットワーク・コミュニティの実験を実施している。

主な著書

『コミュニティ・ソリューション ボランティアな問題解決にむけて』(岩波書店) 『21世紀へのキーワード~インターネット哲学アゴラ 弱さ』(岩波書店共著) 『ネットワーク組織論』(岩波書店共著) 『ボランティア もうひとつの情報社会』(岩波新書) 『ボランティア経済の誕生』(実業の日本社共著) 等多数

田 中 雅 道 (たなか まさみち) 氏

要 旨

- ・ 建学の精神と私立幼稚園の現状
- ・ 地域社会、家庭を支える私立幼稚園の新しい役割
- ・ 子どもの視点からの子育て支援の在り方

以上の3つの視点から、私立幼稚園と地域社会のかかわりについて考察したい。

略 歴

昭和51年3月京都大学経済学部卒、同年4月学校法人光明学園、平成元年3月京都大学文学部哲学専攻中退、同年4月光明幼稚園園長、学校法人光明学園理事。

主な兼職

文部省：時代の変化に対応した今後の幼稚園教育の在り方に関する調査研究協力者会議委員

文部省：幼稚園教育要領改訂委員

主な著書

『障害児臨床と発達の研究』(コレール社) 共著等

丹 羽 健 夫 (にわ たけお) 氏

要 旨

大学進学率は50%に達し、更に上昇の気配を見せている昨今、日本の大学は形も内容も大きく変わろうとしている。大学はどんな風になろうとしているのか。そして小中高校で意識して培ってゆくべき能力とは何か。

略 歴

昭和34年3月名古屋大学経済学部卒、43年5月より河合塾にて生徒指導、カリキュラム作成教員募集、生徒募集に携わる。同塾理事、進学教育本部長。全国進学情報センター所長(平成13年6月退任)。同時に河合塾顧問、河合文化教育研究所所長に就任。

主な兼職

日本工学教育協会大学企業連携調査研究委員会委員。

主な著書

『母親のための大学入試トラの巻』(中央公論社) 『眠られぬ受験生のために』(中央公論社) 『親と子の大学入試』(中央公論社) 『悪い問だらけの大学入試』(集英社新書)

第2日・12月4日(火)

事例研究

9:30～10:30

「私学教育の危機管理 - 生徒指導の今日的課題 - 」

講 師 : 日本私学教育研究所専任研究員 櫻 井 る 糸 子

要 旨

私立学校における生徒指導は、学校運営の教育的課題であり、建学の精神を踏まえた生徒指導こそ全ての教育活動の基盤である。生徒・保護者・教職員の共通認識のあり方や生徒指導に伴う危機管理を課題として述べたい。

略 歴

昭和32年3月 明治大学法学部卒、34年～平成7年3月 警視庁警察官。家事相談所、少年相談室等を経て、浅草少年センター所長、三田警察署長（全国初の女性警察署長・警視正）、58年～62年 東京都児童相談機関連絡協議会委員。60年～62年 文部省家庭教育資料作成懇談会委員。平成7年6月（財）日本私学教育研究所専任研究員。

主な兼職

平成7年4月 警視庁青少年健全育成指導員（非常勤）、13年2月 内閣府男女共同参画会議専門委員（非常勤）

主な著書

『家事相談事例回答集（共著）』（東京法令出版）『現代の家庭教育小学高学年・中学生（共著）』（ぎょうせい）『少年相談の手引き（共著）』（警視庁少年第一課）『生徒指導に活かす社会のルール』（日本私学教育研究所）

校種別研修

10:45～12:00

教育改革・規制改革等が図られる中で、教育の競争的環境の創出、学ぶ意欲の高揚、子育て支援の拡充等が検討されています。現在私立学校をとりまく諸情勢の分析と今後の課題を中心に学校種別毎に協議します。

中・高部会 「現下の私学情勢」

講 師 : 日本私立中学高等学校連合会会長 堀 越 克 明
学校法人堀越学園理事長

小学校部会 「三校の情報教育の現状と今後の課題」

講 師 : 立教大学文学部講師 石 井 輝 義

慶應義塾幼稚舎舎長 金 子 郁 容
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

玉川学園小学部教諭 溝 口 広 久
(五十音順)

幼稚園部会 「現下の私学情勢」

講 師 : 全日本私立幼稚園連合会副会長 吉 田 敬 岳
自由ヶ丘幼稚園園長

校種別研修の講師プロフィール

堀越 克明（ほりこし かつあき）氏

略 歴

昭和24年 東京大学農学部農業経済科卒、18年 堀越高等女学校教諭、21年（財）千秋学園（現（学）堀越学園）理事・評議員（至現在）、23年（財）堀越学園（現（学）和洋学園）理事・評議員（至現在）、31年 東京私立中学高等学校協会理事（平成2年3月まで）、32年 堀越高等学校長（至現在）、35年 堀越中学校長（62年3月まで）、37年 ほりこし幼稚園長（54年3月まで）、48年（学）堀越学園理事長（至現在）、60年 穎明館高等学校長（平成10年3月まで）、62年 穎明館中学校長（平成10年3月まで）。

主な兼職

昭和41年（社）東京都私学退職金社団理事（至現在）、44年 中央教育審議会委員（48年6月まで）、45年 東京都私立学校審議会委員（至現在）、46年 全国私学退職金団体連合会理事（53年6月まで）、51年全国私立学校審議会連合会会長（61年3月まで）、53年 日本私立中学高等学校連合会会長、（財）日本私学教育研究所理事長、全国私学退職金団体連合会会長（以上至現在）、59年 総務庁国際青年事業推進会議企画委員長（61年3月まで）、60年 文部省大学入試改革協議会委員（平成元年3月まで）

功績表彰

昭和53年11月 藍綬褒章受章。

平成5年11月 勲三等旭日中綬章受章。

石井 輝義（いしい てるよし）氏

略 歴

平成8年3月 立教大学大学院卒、同年4月 立教大学文学部講師（至現在）

金子 郁容（かねこ いくよう）氏

「パネルディスカッション発表要旨及びプロフィール」参照

溝口 広久（みぞぐち ひろひさ）氏

略 歴

昭和61年3月 明星大学人文学部心理教育学科教育学専修、同年4月 明星大学人文学部心理教育学科心理学研究室助手、62年4月 学校法人明星学苑明星小学校着任、平成元年4月 サウジアラビア王国/カフジ明星小学校赴任、11年4月 玉川学園CHat Netセンターおよび小学部教諭（情報科）兼担として着任

主な兼職

玉川学園小学部情報科教諭、同学内日本語遠隔授業スタッフ、同学内遠隔教育推進プロジェクト・教材コンテンツ作業スタッフ

吉田 敬岳（よしだ けいがく）氏

略 歴

昭和48年3月 愛知教育大学教育学部卒業、49年3月 高野山専修学院修了、同年4月 自由ヶ丘幼稚園教諭、54年4月 第三自由ヶ丘幼稚園副園長、62年4月 第二自由ヶ丘幼稚園園長、平成8年4月 自由ヶ丘幼稚園園長。

主な兼職

平成4年4月（社）愛知県私立幼稚園連盟 理事、7年4月（社）愛知県私立幼稚園連盟 常任理事（総務部長）、同名古屋市私立幼稚園協会 常任理事（振興部長）8年5月 全日本私立幼稚園連合会 常任理事（総務）、10年4月（社）愛知県私立幼稚園連盟 副会長、同年名古屋市私立幼稚園協会 会長、同年7月 全日本私立幼稚園連合会 常任理事（総務委員長）、昭和58年4月 少年補導委員、平成7年4月 豊ヶ丘学園 教諭、10年7月 愛知県私学審議会委員

「クレオパトラ女王の謎」

講師：早稲田大学教授
早稲田大学エジプト学研究所所長

吉村作治

要 旨

古代エジプト最後の女王クレオパトラは才色兼備の女性として知られていると同時に、歴史の波に翻弄された悲劇の女王でもあります。女王の人生について当時の世界情勢と古代エジプト文明の魅力にも触れながらお話しします。

略 歴

1943年 東京都生まれ。カイロ大学考古学研究所留学。早稲田大学第一文学部卒業。現在、早稲田大学人間科学部教授。工学博士。

子供の頃に読んだ本でエジプトに興味をもち、早稲田大学在学中に仲間を集めエジプトへ調査に行ったのがきっかけとなり、エジプト考古学者となる。その後カイロ大学に留学し、エジプト考古学より発掘権をもらいエジプトにて35年にわたって発掘を続けている。そして遺跡発見にハイテクを使い、数々の成果をあげている。最近では東海大学と共同で人工衛星の画像データを分析し、砂漠の砂の下より今から3400年ほど前の貴族の墓地群を発見するなどエジプト考古学に貢献している。エジプト考古学分野に限らず、世界各地の考古学的遺跡などを対象とした比較文明についても調査を行っている。

日本にエジプト文明を広めるため調査隊友の会「ピラミッドクラブ」を主宰したり、各種の著作を発表している。

また、2001年4月よりスタートした“インパカーインターネット博覧会”では政府の構成委員を務め自らもホームページ「えじぷとぴあ - <http://www.egypt.co.jp/>」を立ち上げ、毎週メッセージを発信中。

主な著書

『エジプト発掘30年』(平凡社) 『痛快!ピラミッド学』(集英社インターナショナル) 『ひとのちから』(麗澤大学出版会) 『古代エジプトを掘る』(PHP文庫) 『ピラミッド文明・ナイルの旅』(NHK出版) 『エジプト美の起源・カイロ博物館入門』(小学館) 『エジプトミイラ5000年の謎』(講談社+新書) 『吉村作治の古代エジプト講義録』(上・下巻/講談社) 『エジプトのミイラ』(アケト) *その他、料理、子供向け図書等多数執筆。

事例指導

14:30～16:00

「東京都における教育職員の人事考課制度の導入結果について」

講師：東京都教育庁人事部職員課長 新井清博

要旨

東京都では、平成12年度に教育職員にはじめて人事考課制度を導入し、2年目に入っている。昨年度の実績としては、自己申告書の提出状況や授業観察の実施状況などは100%近い高率に達し、数字的にはまずまずの結果となったが、内容面や活用状況等はまだまだ不十分な面があるのが現実である。

一年間を振り返って、現状の到達点と問題点について述べる。

略歴

昭和47年3月 中央大学法学部法律学科卒業、50年4月 入都 教育庁、54年4月 養育院、61年4月 総務局行政管理室、平成3年4月 財務局主計部、5年4月 都立上野高校事務室長他、9年7月 教育庁 総務部副参事（人事担当）、11年7月 教育庁 生涯学習部文化課長、12年8月 教育庁 人事部職員課長

閉会

16:00～16:15

挨拶： 研修会運営委員長 田沼智明
横浜学園中学高等学校理事長

9. 運営委員・幹事

運営委員長	田 沼 智 明	横浜学園中学高等学校	理 事 長
運営副委員長	原	昭 和 一 高 学 園	顧 問
運 営 委 員	九 里 茂 三	九 里 学 園	理事長・学園長
	佐 藤 早 苗	朋 優 学 院 高 等 学 校	理事長・校長
	武 田 博 信	ト キ ワ 松 学 園 小 学 校	校 長
	田 中 雅 道	光 明 幼 稚 園	園 長
	長谷川 良 昭	大 乗 淑 徳 学 園	理 事 長
	吉 田 敬 岳	自 由 ケ 丘 幼 稚 園	園 長

(五十音順)

幹 事	尾 崎 輝 雄	日本私立中学高等学校連合会	事 務 局 長
	河 井 和 雄	日本私立小学校連合会	事 務 局 長
	青 木 宏 之	全日本私立幼稚園連合会	事 務 局 長
	澤 孝 司	私 学 研 修 福 祉 会	事 務 局 長

(順不同)

(敬称略)

私学会館(アルカディア市ヶ谷)案内図
 所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号
 TEL：03(3261)9921(代表)
 JR・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅
 (地下鉄の出口はA1-1、A4のご利用が便利です。)

